

1. 体裁

本会ウェブサイトのレイアウト見本を参考に、A4 版用紙を用い、図表等も含め印字面積[ヨコ 150mm×タテ 237mm]の範囲内に、1 ページ当たり 45 行×1 段で執筆すること（余白：上下左右全て 30mm）。

2. 原稿分量

- 審査用 Abstract：2 ページ以内。必要に応じて、図表や参考文献等を記載しても良い。
- Extended Abstract：4 ページ以内。必要に応じて、図表や参考文献等を記載しても良い。
- Full Paper：8 ページ以上 24 ページ以内。

3. 使用言語

図表等も含め英語で執筆すること。
スペル・文法等に誤りがないことはもちろん、専門用語については、用語集や国・自治体の英文ウェブサイトや英文パンフレット等を参照し、広く受け入れられた訳語を用いること。

4. 構成とレイアウト

4-1 構成

次の順に従って執筆すること。

- 審査用 Abstract：タイトル、著者名、アブストラクト、キーワード(3～6 つ)、必要に応じて、図表・参考文献。フッター部分に所属と E-mail を記載。
- Extended Abstract：タイトル、著者名、アブストラクト、キーワード(3～6 つ)、必要に応じて、図表・参考文献。フッター部分に所属と E-mail を記載。
- Full Paper：1 ページ目に「タイトル、著者名、アブストラクト、キーワード(3～6 つ)、フッター部分に所属と E-mail」を、2 ページ目以降に「本文（図表を含む）、謝辞・補注（必要な場合）、参考・引用文献」を記載。

4-2 文字

数式、図表中の文字を含め、ワープロソフト等で作成すること。手書きは認めない。また、以下のような機種依存文字を使用する場合は、文字化けする可能性があるがあるので、注意すること。

[機種依存文字の例]

①②③④⑤ I II III IV V i ii iii iv v 等

4-3 タイトル、アブストラクト、キーワード、本文

フォントは Times New Roman、ポイントは論文タイトル 14 ポイント、その他は 11 ポイントを基本とし、章タイトルはボールドとする。左右の端は揃え、指定された範囲内に収まるように印字すること。各章の直後

の行は、最低 1 行は空けること。

4-4 図・表・写真

表には、その上の中央に Table-1 のような続き番号とタイトルを、図・写真には、その下の中央にそれぞれ Figure-2、Photo-3 のような続き番号とタイトルを記載すること。

表に用いた単位や既往研究・報告等からの引用または転載の場合はその出典を必ず明記すること。

4-5 補注、参考・引用文献

既往研究・報告等から、その文、データ、図表等を引用または転載する場合は、すべての出典を必ず明記すること。

判読できる場合に限り小さい文字を用いることもできる。ただし、ポイントは 10 ポイント、行間は 12pt を最低値とする。

補注（Notes）を必要とする場合は(1)、(2)、・・・(n)の記号で本文該当箇所の上付きで示し、参考・引用文献リストの前にまとめて掲載すること。

参考・引用文献（References）は本文に特に関わりあるものにとどめ、1)、2)、・・・(n)の記号で本文該当箇所の上付きで示し、参照順に文末にまとめて掲載すること。

参考・引用文献が日本語等の非英語で執筆されている文献で、英文タイトル等の記載がない文献においては、著者にて英訳を行い、英文タイトル等の原語を必ず併記すること。詳細の参考文献の記載方法は科学技術情報流通技術基準「参考文献の役割と書き方」を参照されたい (http://sti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf)。[記載方法例]

- 論文の場合：著者名、表題、誌名、発行年、巻(号)、掲載ページ、言語表示
- 単行本の場合：著者名、書名、発行所、発行年、掲載ページ、言語表示
- ウェブサイト：著者名、ウェブページのタイトル、URL、最終アクセス年月日

5. 提出

必ず PDF 形式で提出すること。

[お問い合わせ]

公益社団法人日本都市計画学会 国際委員会
国際都市計画シンポジウム 2014 係

TEL: 03-3261-5407 E-Mail: sympo14@cpj.or.jp

URL: <http://www.cpij.or.jp/>